

施工説明書

本施工要領書、及び取扱説明書の指示に従った場合のみ製品保証の対象となり、この製品に定められた性能とその安全性を保証するものとします。

1 安全上の注意

1. 記号の説明

- 以下に示した注意事項は状況によって重大な結果（傷害・物損等）に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 取り付け工事は、水道法、その他の地方自治体の法令、および地方自治体の条例、規則など各種法規に従って行ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認し、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方をお客さまに説明してください。



2. 注意事項

- 修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。
故障や水漏れの原因となります。
- 製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因となります。
- 湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしたのに湯が出て、やけどをすることがあります。
- 同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因となります。
- 寒冷地では使用しないでください。
凍結により故障や水漏れする危険性があります。
- 温泉水には使用しないでください。
温泉成分により器具が腐食する等の恐れがあります。
- 給湯の温度設定は 80℃以下にしてください。
水栓の故障またはやけどの防止になります。
- 各接続部は確実に接続してください。
確実に接続されていないと、水漏れの原因となります。

2 本製品の仕様と使用条件

給湯設定温度	80℃以下
使用可能水質	飲用可能な水道水（温泉水不可）
使用環境温度	0～40℃ 但し、内部の水を凍結させないでください。
給水、給湯接続	G 1/2
圧力条件	0.05MPa（流動圧）～0.75MPa（静水圧） 給水圧力≧給湯圧力
取り付け条件	水栓取り付け穴：φ35 カウンター厚：6～40mm

使用条件：

- * 使用最低温度 3℃以上—適温 15℃—給水
- * 使用最高温度 80℃以下—適温 65℃—給湯
- * 使用温度差 50℃以内
- * 水または湯のどちらか一方が不足した場合でも給水をブロックする機能が付いた安全システム
- * 給水圧力が 0.75MPa を超える場合は、市販の減圧弁を取り付けることをお勧めします。
- * 給水圧力 0.3MPa を推奨。

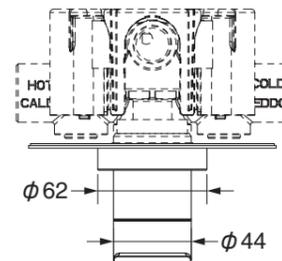
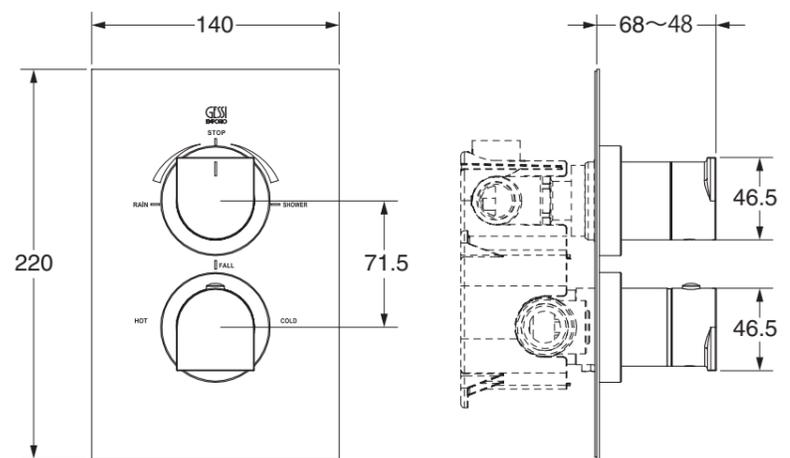
3 施工上の注意

器具を取りつける前に必ず給水・給湯管内のごみ、溶接時の破片や麻糸またはその他の異物が管内に残らないよう完全に取り除き管内をよく洗い流してください。管内の不完全な洗浄や一般の給水網を通して器具の中に異物が混入すると故障の原因となることがあります。

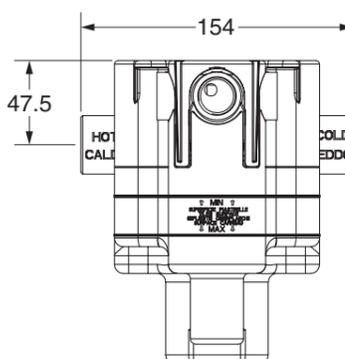
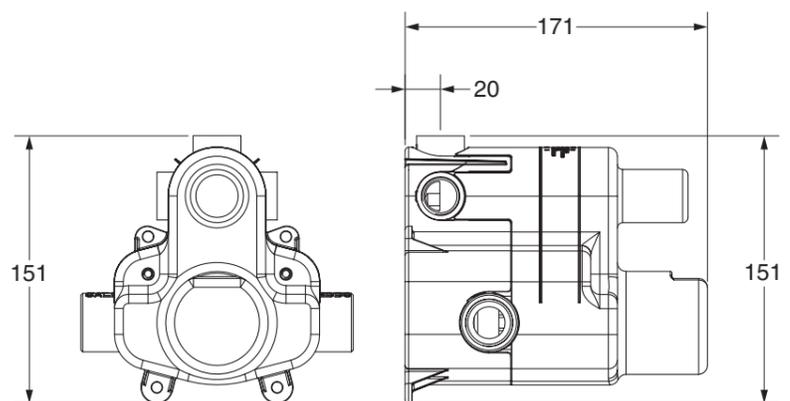
インナー部の取り付けは、本体の埋め込み深さに注意してください。

寸法図

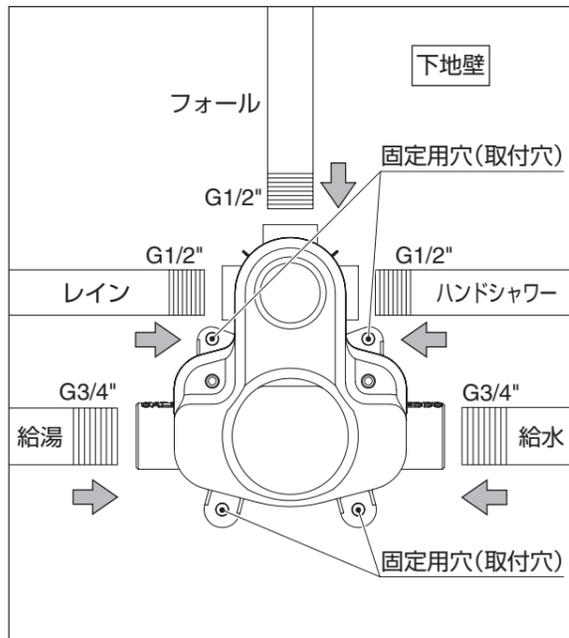
アウターハンドル：GS-38736.031



インナーハンドル：GS-09258.031

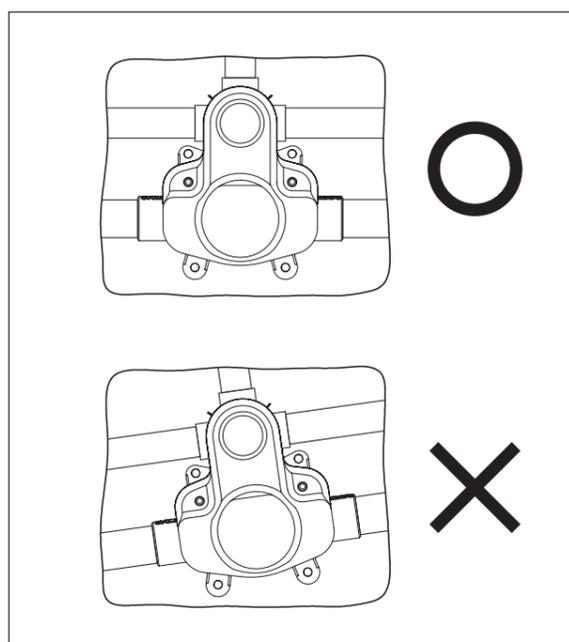


4 本体取り付けの前に



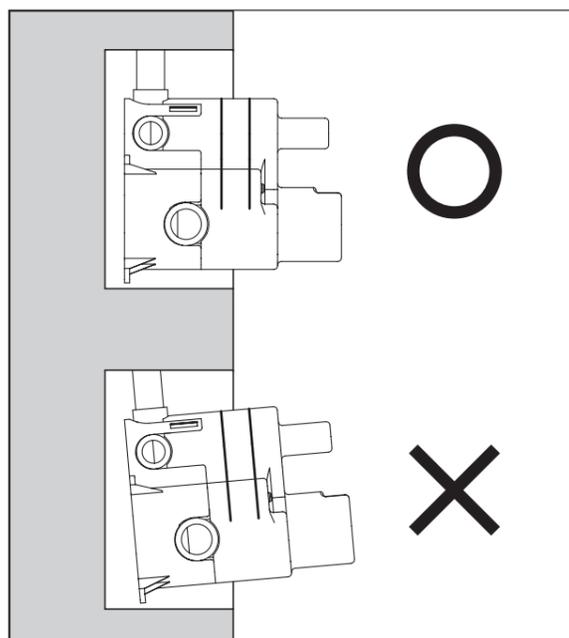
接続位置

左図のように接続します。
4ヶ所の固定用穴(取付穴)を利用し、下地にインナーパーツを固定してください。



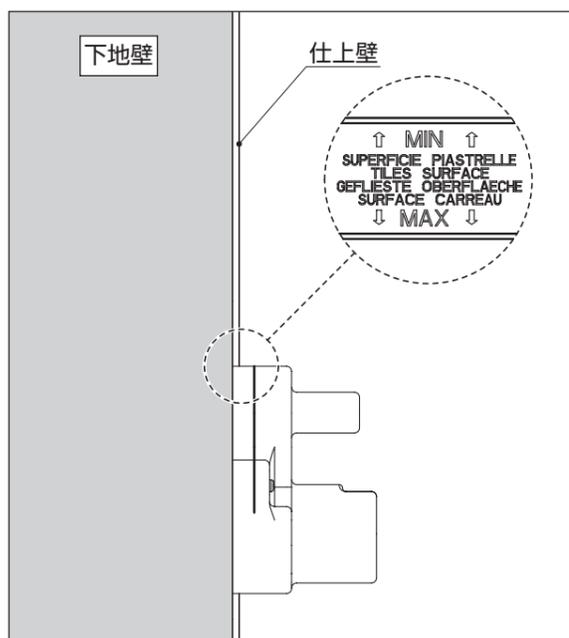
⚠ 注意

本体は必ず水平に取り付けてください。



⚠ 注意

本体は必ず垂直に取り付けてください。



⚠ 注意

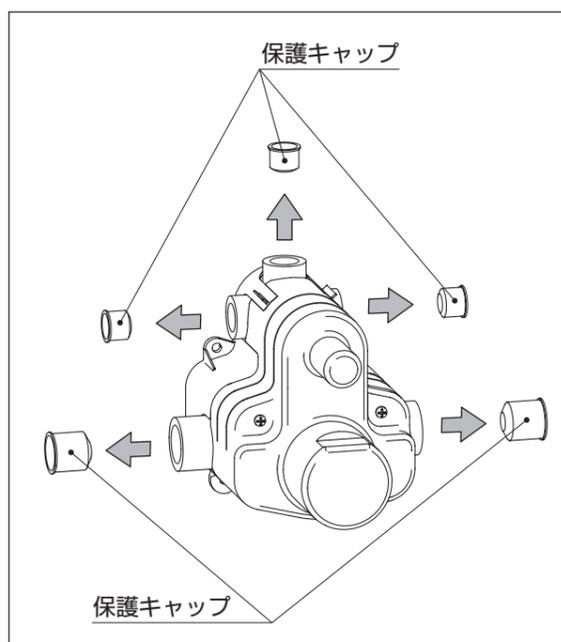
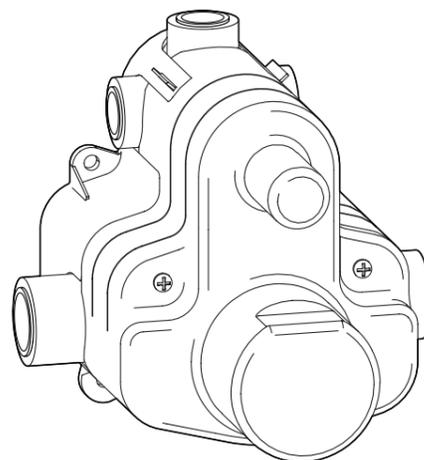
壁の仕上がり面がインナーカパーの表示 MIN と MAX の間にくるように取り付けてください。

※インナーの裏面から
MIN まで 80mm
MAX まで 90mm
となります。

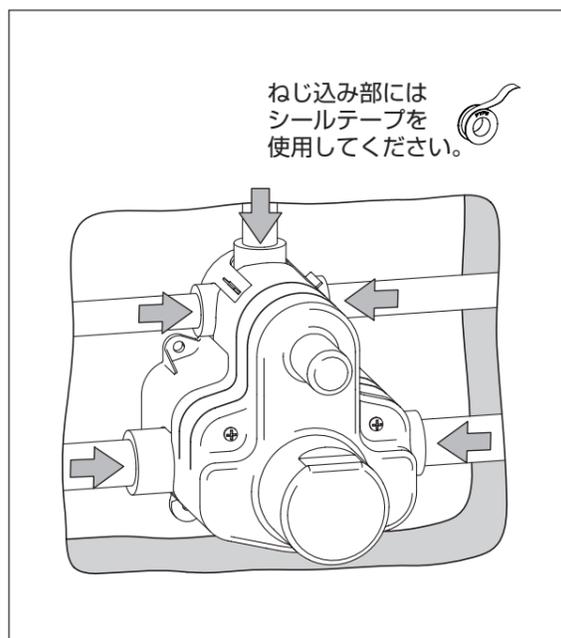
5 インナー部施工手順

インナー部梱包内容

GS-09258.031



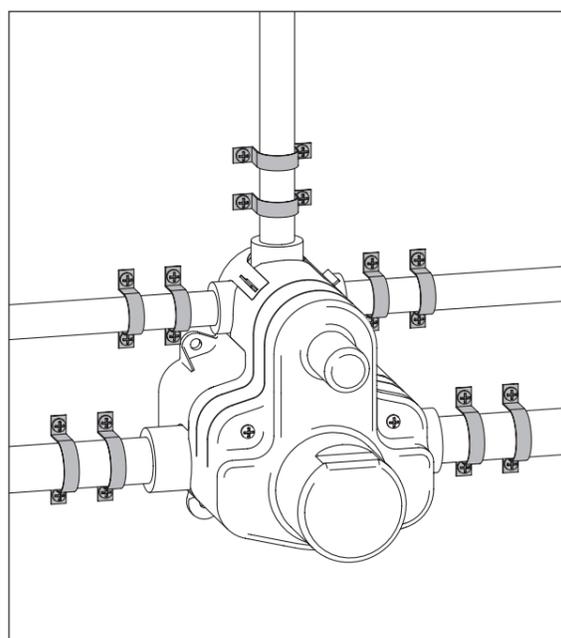
①保護キャップをはずします。



②本体に配管をねじ込みます。

⚠ 注意

シールテープを使用してください。



③配管を固定します。

⚠ 注意

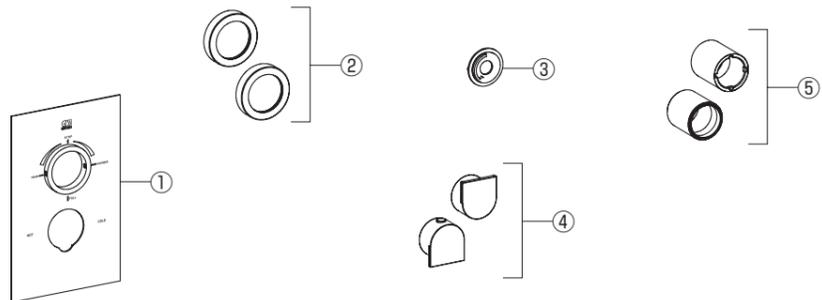
本体に近いところで配管を固定してください。

6 アウター部施工手順

アウター部梱包内容

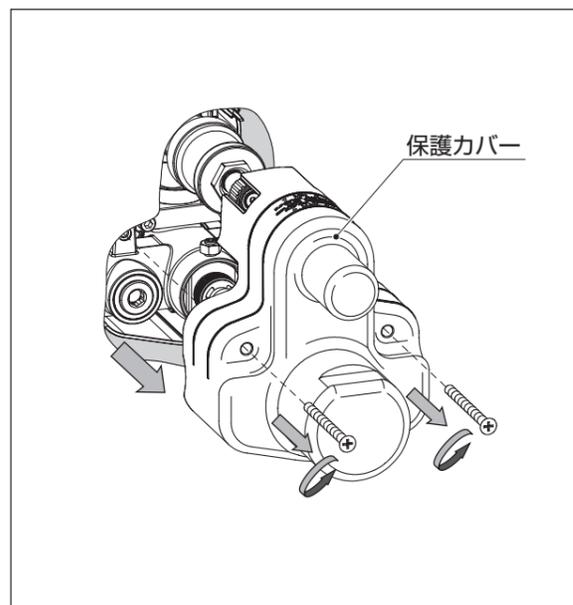
梱包にはイラストのパーツが含まれています。開梱時にご確認ください。

GS-38736.031

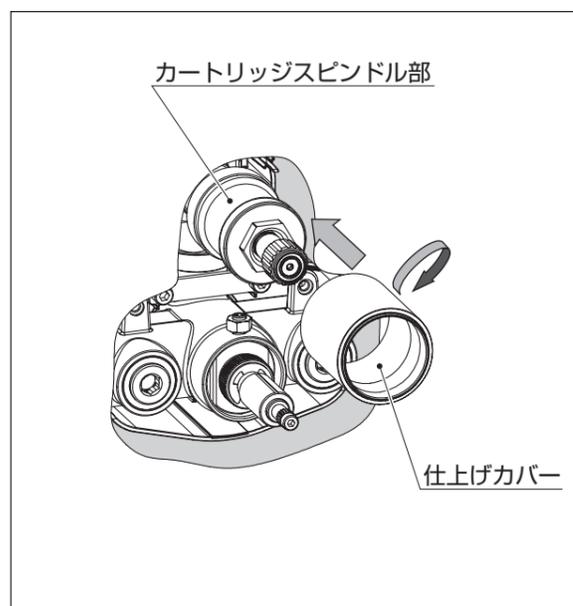


① カバー・プレート	② 化粧リング × 2個
③ 水温調整ストッパー	④ レバーハンドル 各1個
⑤ 仕上げカバー 各1個	

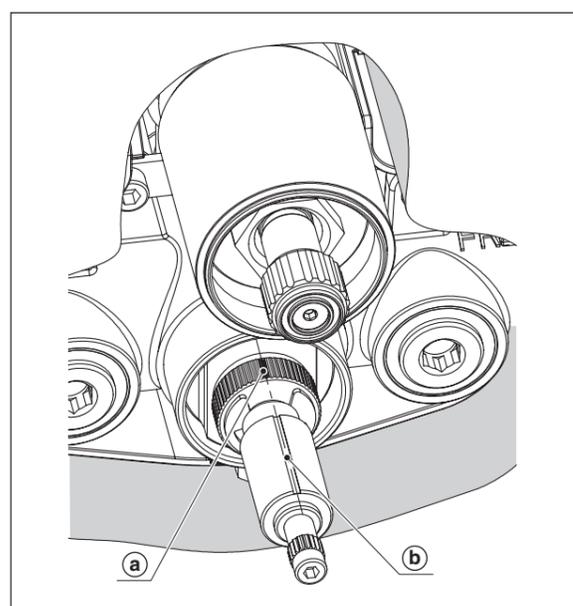
取付手順



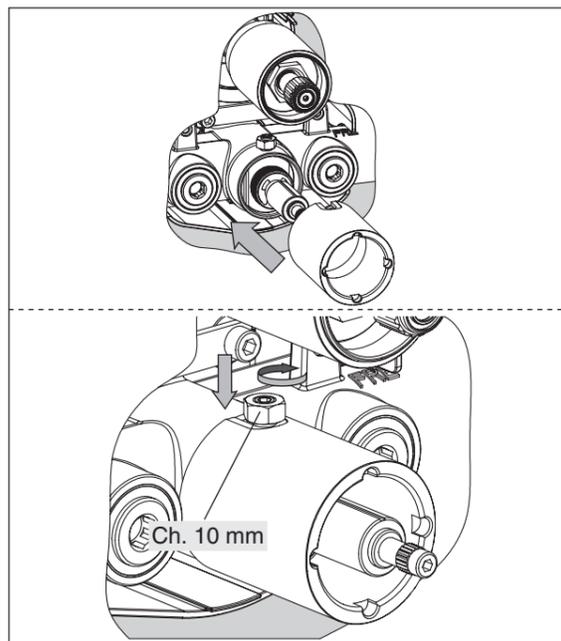
① インナーの保護カバーを外してください。



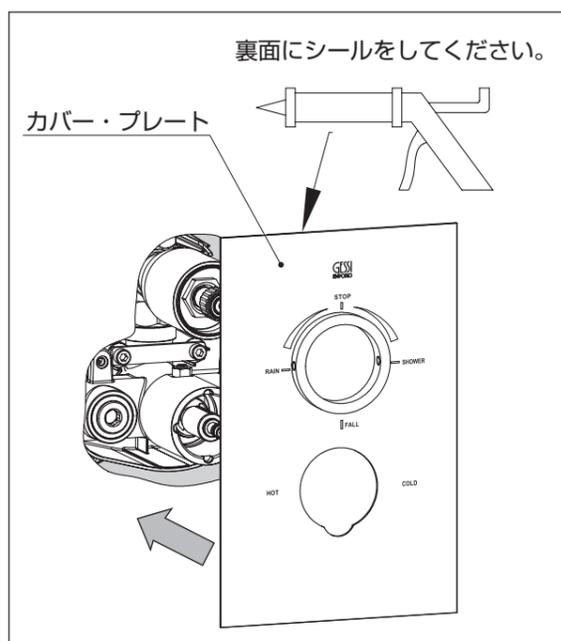
② カートリッジスピンドル部に仕上げカバーを手で時計回りにねじ込みます。



③ 温度調整ハンドル固定レバーの (a) に (b) の位置を合わせます。

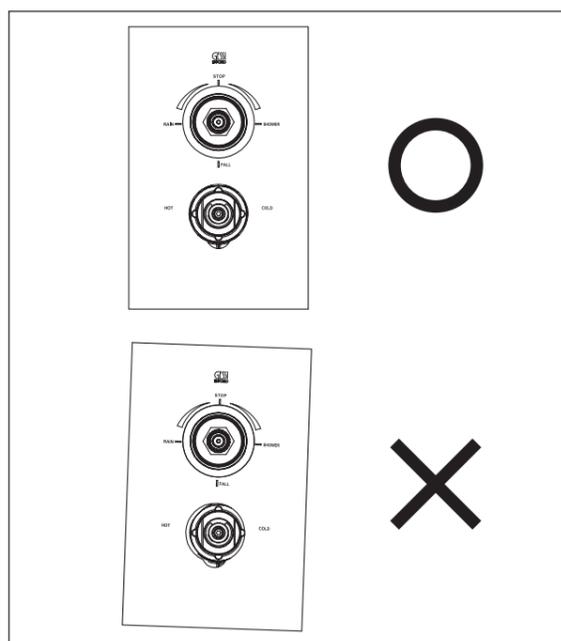


④ 温度調整ハンドルレバーに仕上げカバーを差し込みます。10mmのスパナでナットを時計回りに回し、固定します。

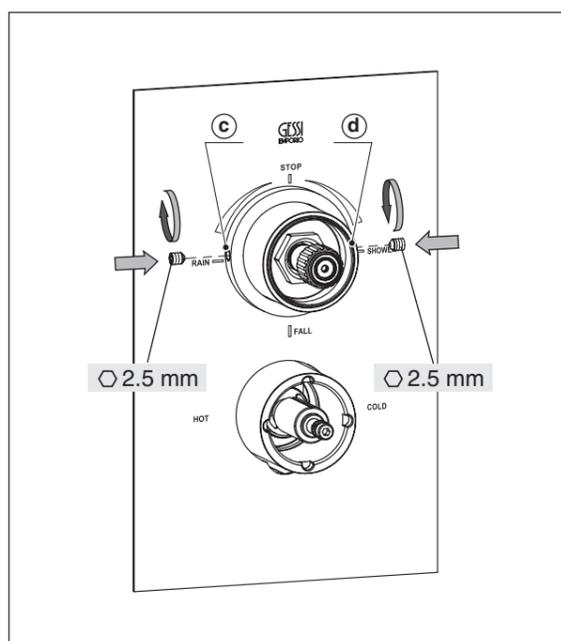


⑤ カバー・プレートを取り付けます。

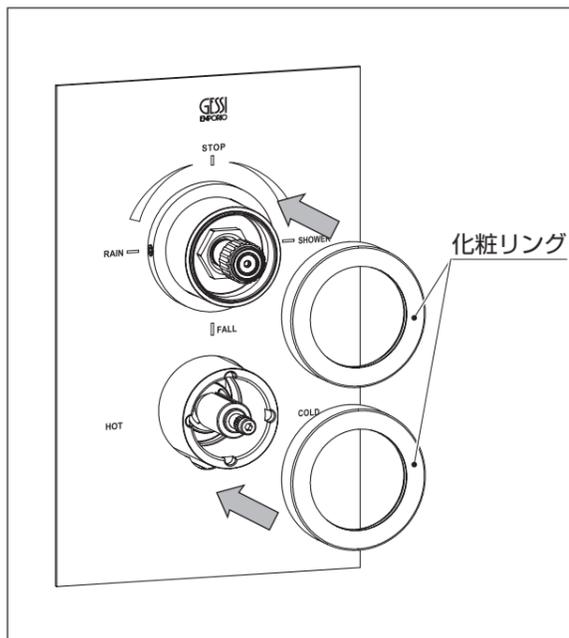
注意
裏面にシールをしてください。シールをしないで取り付けるとインナー側に水が浸入するおそれがあります。



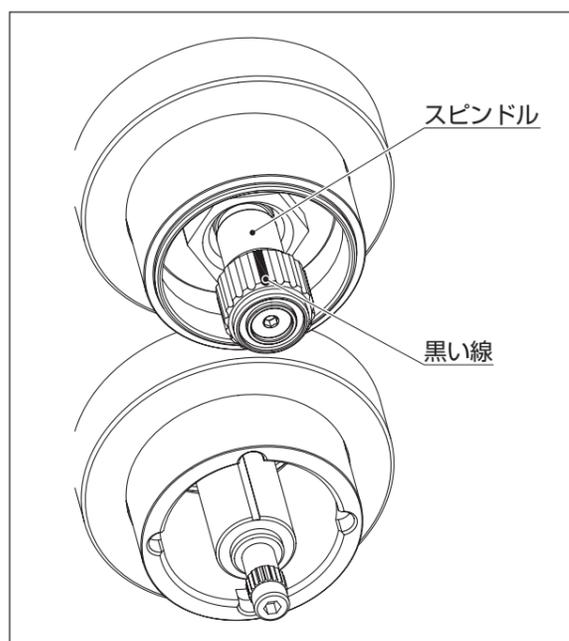
注意
カバーは水平に取り付けてください。



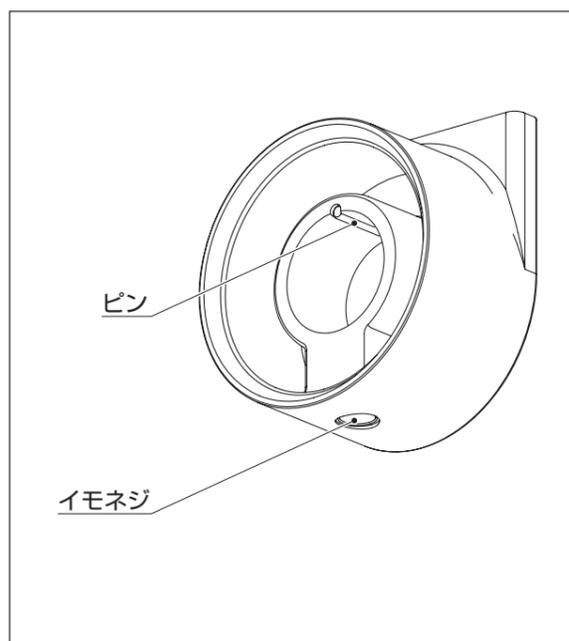
⑥ 2.5mmのイモネジをカバー・プレートの切り換えレバー側の穴 (c)、(d) から六角レンチで時計回りに回してねじ込み、カバー・プレートを固定します。



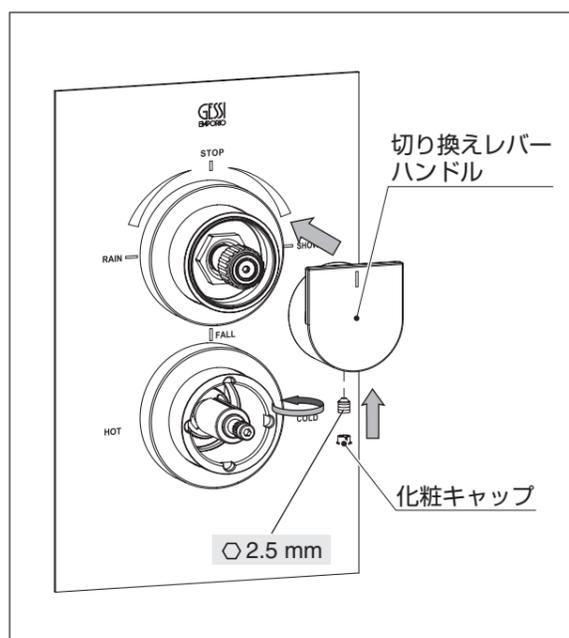
⑦仕上げ用ガスケットを手ではめ込みます。



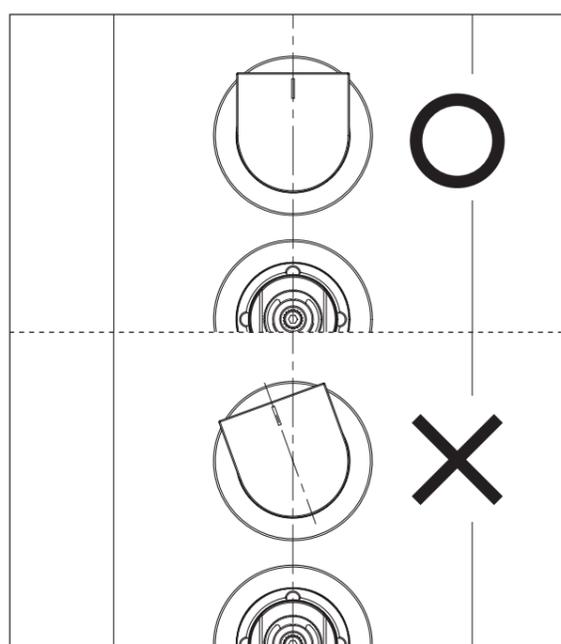
⑧スピンドルを回して、切り換えレバーのハンドル固定部にある黒い線を真上にします。



⑨切り換えレバーハンドルの裏面に固定部のピンとイモネジが入っていることを確認します。

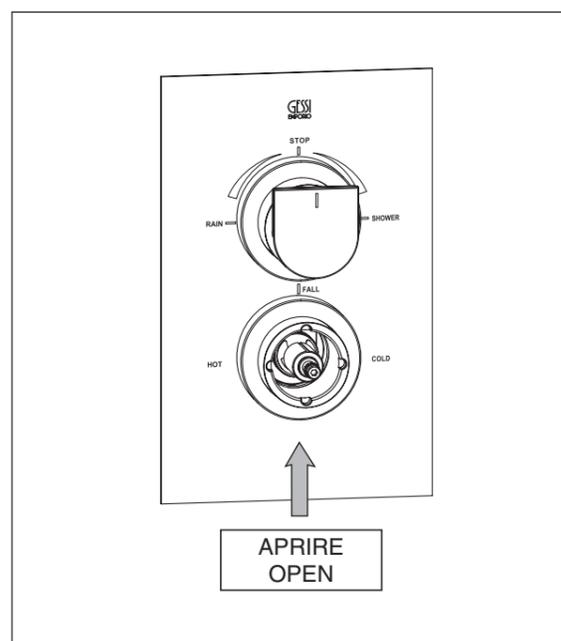


⑩切り換えレバーハンドルを差し込み、2.5mmの六角レンチを時計回りに回して固定し、化粧キャップを嵌めます。

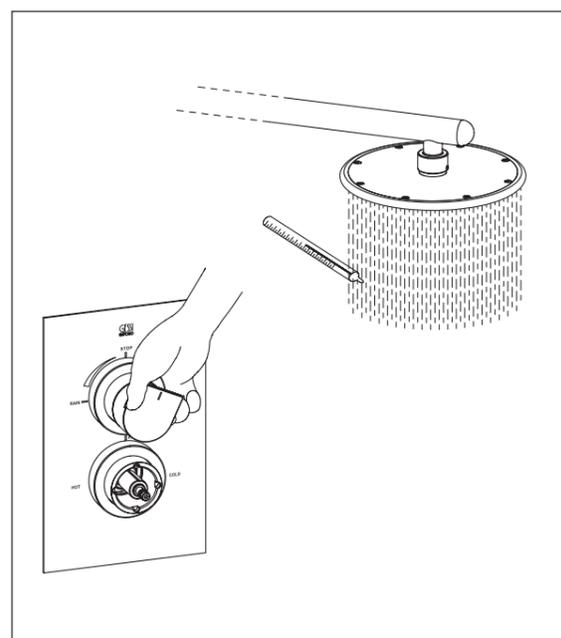


注意
ハンドルは真っすぐになるように取り付けます。

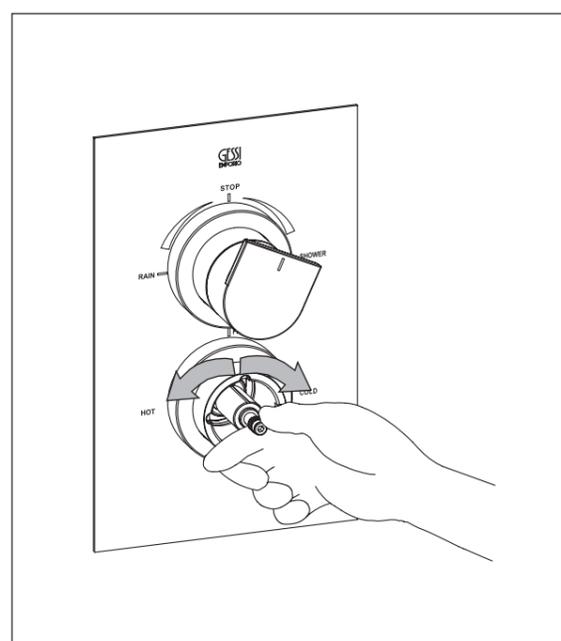
7 温度調整



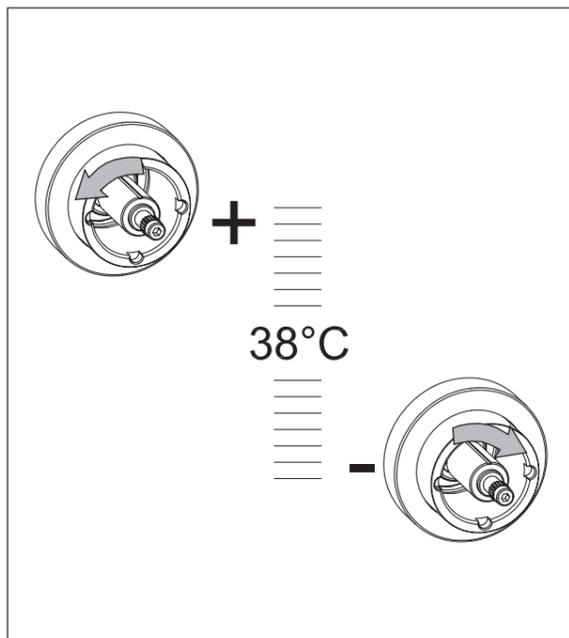
温度調整ハンドルの位置を決めます。



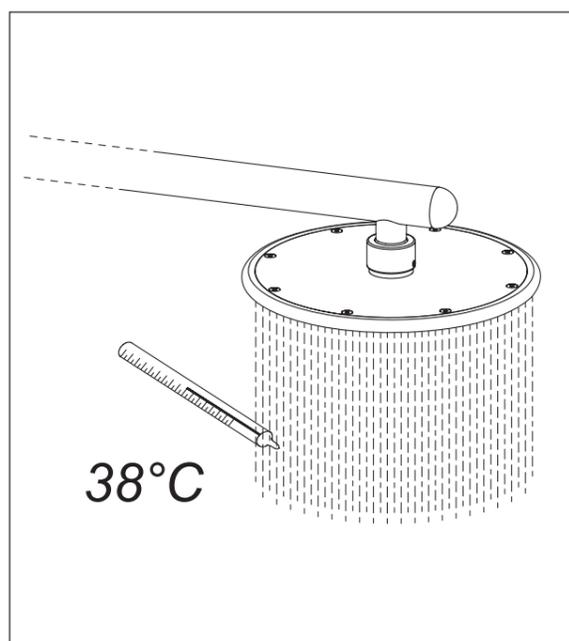
①切り換えレバーを回し、吐水したシャワーの温度を測ります。



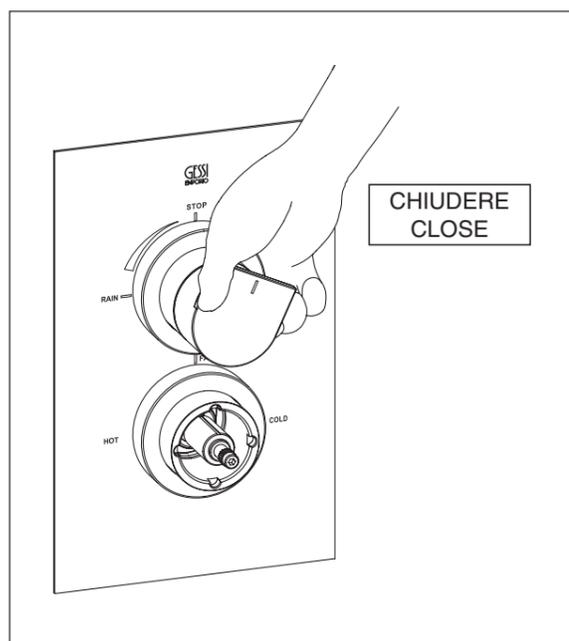
②吐水温度が38℃となるように温度調整ハンドルを回して、調整します。
※ハンドルレバーを装着するとスムーズに作業が行えます。



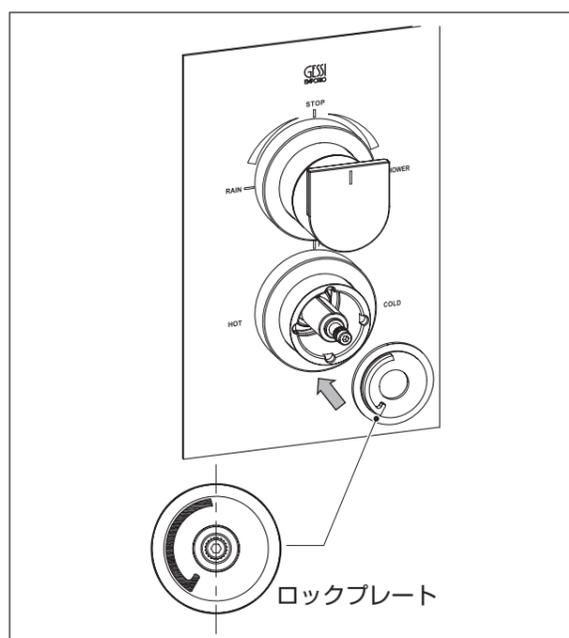
③ 38°Cより温度が低い場合は、ハンドルを反時計回りに、温度が高い場合は時計回りに回して調整します。



④ 吐水温度が 38°Cであることを確認します。

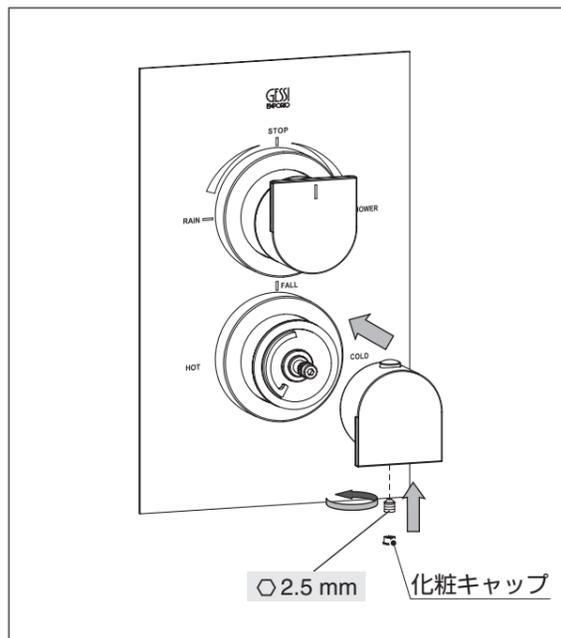


⑤ 確認ができれば、止水してください。



⑥ ロックプレートを図のような位置にして温度調整ハンドルに取り付けます。

⚠ 注意
ロックプレートがずれていると、安全ボタンが真上にきません。



⑦ 温度調整レバーハンドルを安全ボタンを真上にした常態で差し込みます。
イモネジを 2.5mm の六角レンチで時計回りに回し固定し、化粧キャップを嵌めます。

8 引き渡し前の確認

工事が終了したら、湯・水の止水栓を開け、エアレーターを清掃し、各部に水漏れがないか、動作は正常かを確認してください。

現象	点検内容	処置
流量が少ない	圧力は十分か？	☑ 使用条件参照
	止水栓は十分開いているか？	流量の調節
	エアレーターにゴミ詰まりはないか？	エアレーターの掃除
	配管途中に大きな抵抗はないか？	配管の系統を確認する
水が止まらない	ゴミかみはないか？	ハンドルと止水栓の開閉でフラッシングをする
希望の温度が得られない	圧力は十分か？	☑ 使用条件参照
	流量調節はよいか？	止水栓で流量の調節
ハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	固定ビスを締め直す ※

※レバーハンドル裏側のキャップの中に固定ビス (φ 2.5 六角) があります。